

12月21日に宮崎市大淀川市民緑地公園で実施された「令和7年度宮崎市総合防災訓練」に参加しました。

宮崎市総合防災訓練は、南海トラフ巨大地震発生時の災害対応活動について、防災関係機関や各種団体、企業等との協力体制を確認するために実施されています。

海上保安庁では多数の死者が発生した際の検視活動に関する訓練を実施し、関係機関と手順の確認を行うなど、連携強化を図ることが出来ました。

防災展示ブースでは市民の方に防災について触れていただくため、海上保安庁で対応した災害の写真パネルや日本周辺3D海底地形図の展示に加え、VRゴーグルなどを使用して海上保安庁の業務紹介を行いました。



ご遺体（マネキン）の検視活動



防災展示ブース